



いずみの里



清水小宣言 「さわやかなあいさつをかわします」「進んで人のために働きます」「友だちを大切にします」

あいさつで つなぐところと ひろがる輪

清水小学校には長い歴史がありますが、校訓はありません。その代わりに「清水小宣言」が大切に受け継がれてきました。清水小宣言は、平成13年に児童委員会を中心に、当時の子どもたちが話し合っただけのものでした。まさに、子どもたちの、子どもたちによる、子どもたちのための宣言です。その精神が、今も脈々と受け継がれていることが、本校の大きな特徴です。

朝、校門に立っていると、卒業した中学生も自然にあいさつを交わしてくれます。その姿からも、清水小で大切にしてきたことが、卒業後も子どもたちの中に生き続けていることを感じ、嬉しく思います。

先日、地域の方から連絡をいただきました。登下校の交差点で、車が止まり子どもたちの横断を待っていてくれたそうです。そのとき、一人の児童が渡り終えた後、振り返って「ありがとうございました」と言い、お辞儀をしたという内容でした。相手の思いに気づき、感謝を言葉と行動で表す姿に、心が温くなりました。

また、校内でも印象的な場面がありました。廊下ですれ違った際、近くの部屋で大切な会議が行われていました。そのことを感じ取った子どもが、声を出さずに笑顔で「黙礼」をしてくれました。時と場に応じて挨拶の仕方を変える姿に、子どもたちの育ちを感じました。

これらのエピソードは、芹沢先生が話を受けて、実際の子どもの姿から感じたりしたことを、校内放送で紹介してくれたものです。子どもたちのよい姿を全校で共有することで、あいさつのよさがさらに広がっていくことを感じています。

さらに、朝、学校前の横断歩道に立っていると、元気なあいさつが交わされます。「おはようございます」としっかり声をかけてくれる子どもたちの姿から、こちらにも元気をもらい、「今日も一日がんばろう」という気持ちになります。

このように、日々の学校生活の中で、さまざまな形のあいさつの姿に出会います。挨拶は、単なる習慣ではなく、人と人をつなぐ大切なコミュニケーションです。感謝の気持ちを伝えるあいさつ、相手や場面を考えたあいさつ、そして人を元気にするあいさつ。子どもたちは、その意味を日々の生活の中で少しずつ身に付けています。

子どもたち自身の手で生まれ、受け継がれてきた清水小宣言が、このような姿となって表れていることを嬉しく感じています。

これからも、子どもたちの姿を大切にしながら、あいさつのよさや心地よさが自然に広がっていく学校でありたいと考えています。子どもたちの元気なあいさつが、ご家庭や地域にも自然と広がっていくと嬉しく思います。



ご家庭や地域の皆様におかれましても、日常の中で交わされるあいさつの一つ一つを大切にしていれば幸いです。

校長 袴田 眞也

1年生を迎える会

先月24日（金）に、清水小へ入学したばかりの1年生が、安心して楽しく学校生活を送れるように、全校児童で1年生を迎える会を開催しました。会の中では、清水小で受け継がれてきた「清水小宣言」を児童会のお兄さんお姉さんが、楽しい寸劇の中でわかりやすく紹介していました。1年生に伝わるようにと、大きな動作やはっきりとした台詞で、かつて自分たちがお兄さんお姉さんから教えてもらい受け継いだように、全身で紹介する姿に、1年生の目は釘付けでした。また、入学式で6年生が歌ってくれた校歌も、今回は2～6年生の全員で、迫力のある校歌を歌い届けました。



お礼に、1年生から、代表児童のお礼の言葉と、1年生全員から、かわいいダンスをプレゼントしました。この会を1年生が楽しめる会にしたいと、少し緊張していたお兄さんお姉さんの表情

もゆるみ、体育館全体がほっこりとした、とても心温まる時間となりました。

さて、1年生が手拍子で送り出され、それぞれの学年が教室に戻ったあとのお話です。

6年生はその場に残り、1年生を迎える会の会場の片付けに取り掛かりました。我先にと1年生が座っていたステージのひな壇にかけよって分解し片付ける子、体育館壁面の装飾を一つずつ丁寧に取り外す子、また、その装飾を色ごとに分けて袋に片付ける子。6年生の一人一人が、今、するべきことを理解して「進んで人のためにはたらいている姿」がありました。（誰かが見ているから）ではなく、準備をしたときと同様に、全校を代表して、ほんの少しの時間に、あっという間に片付けていました。さすが6年生・さすが最高学年だと、とても感心したのと同時に、今後の6年生の更なる成長と活躍に期待をせずにはられません。

子どもたちは、自分たちが受け継いできたことを、そしてそれらを次の代へ受け継いでいくことをとても大切に思っています。ご家庭でも、ぜひ「清水小宣言」を話題に取り上げてみてください。

